



# 芝小だより

## 3月号

令和5年2月28日

発行者 港区立芝小学校

〒105-0014

港区芝2-21-3

TEL:03-3456-3072

FAX:03-3456-3071

「自信をもち新たな一歩を」

校長 川原 哲郎

中庭の隅に、フキノトウを見付けました。1年生が植えたチューリップの球根や、オランダ大使館の方の講演会の時にいただき飼育環境委員会が埋めたチューリップの球根が芽を出し、だんだん大きくなってきています。先日は、「6年生を送る会」がありました。体育館で各学年が6年生に心のこもった出し物を披露し、卒業おめでとうという気持ちと感謝の気持ちを伝えました。また、それを見つめる逞しく成長した6年生の姿があり、和やかな会となりました。季節も学校の中の雰囲気も年度末、卒業に向かって進んでいることが感じられます。



今年度の学校教育も新型コロナウイルス感染症の影響を受けはしましたが、少しずつ活動の幅もコロナ前のように戻りつつあり、子供たちは、普段の授業や行事、友達との関わりなどを通して立派に成長しました。いろいろな場面で見られた子供たちの笑顔に、我々はどれだけ力付けられたか分かりません。その笑顔を支えているのは、子供たちが安心できる家庭、子供たちを温かく見守ってくださる地域、そして、たくさんの友達の存在だと思っています。

3月、一年の締めくくりの時期を迎えました。子供たち一人一人が、自分の一年間を振り返り、進級、進学に向けて夢や希望をもてるようにしていきたいと思えます。夢や希望をもち、その実現に向けて自分は何をしていくかを考えて目標を立て、チャレンジし努力していくことが大切です。新たな一歩を踏み出す子供たちを応援していきたいと思えます。学校としても、一年間の教育活動を振り返り、子供たちの笑顔のためによりよい教育活動を行えるよう、次年度に向けて計画を立てていきます。また、子供たちが失敗を恐れずチャレンジすることができる雰囲気や、チャレンジや努力している友達を認め応援できる雰囲気を大切にしていきたいです。

来る、3月23日の卒業式をもって6年生は、6年間の小学校生活を終えることとなります。今年度、芝小のリーダーとして委員会活動、クラブ活動、いろいろな行事で下級生を引っ張り、よき手本となり活動してくれた6年生66名が巣立っていきます。芝小で学んだ誇りを胸に次のステージへ進み、活躍していくことを願っています。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には、温かく学校を見守り、御支援、御協力をいただいたことに深く感謝申し上げますとともに、今後とも御支援、御協力の程よろしくお願いいたします。

### 【お知らせ】

昨年12月に御協力いただきました「令和4年度学校教育アンケート」について、集計結果の報告を学校ホームページに掲載しています。この結果をしっかりと検証し、次年度の教育活動に生かしていきます。御協力ありがとうございました。

### 3月生活目標「1年間のまとめをしよう」

「週目標を振り返って」

学校では、月目標をより具体的な身近な目標にするために、週ごとに目標を設定しています。今年度、最もそのキーワードになったことは何でしょう。それは「挨拶」と「廊下歩行」です。一年を振り返ってみましょう。元気な声で挨拶をすることができましたか。朝、門のところに立っていると、自分から挨拶をする人が増えてきました。相手のことを見て、伝わる声の大きさですることができています。ぜひ、これからも続けてほしいです。

課題は廊下歩行です。2月には運営委員会から、安全な廊下歩行について発表がありました。一人一人が気を付けて、全員の安全な学校生活につなげてほしいと思えます。(生活指導部 松崎 直子)

### 学びの部屋

～5年生 アーティスト学校訪問～

2月17日(金)に、<sup>ほんいしゅ</sup>潘逸舟さんをお招きして現代美術について学びました。日常の出来事を全く異なる場面に当てはめて表現した映像に面白さを感じていました。その後、自分を見つめる鏡「自分鏡」を作りました。普段よく手に取るタブレットやスマートフォンの画面を鏡にしてふとしたときに自分を見つめたり、あえて鏡を割って自分の見える部分と見えない部分を作ったりして工夫しました。一人一人の発想力を生かして個性的な作品を仕上げることができました。



(5年生担任 齋藤 文子 長谷川里菜)